



910号
2021年6月22日
郵政産業労働者ユニオン
呉支部発行



←中国地本HPへ
PC・スマホ等から
この情報が閲覧可！



メールはこちら→

お客様意向の不思議

3月で調査終了

2020年3月にかんぽ不適正募集による特定事案案件のお客様対応が基本的に終わり、募集人調査も4月に判定が完了した。

不適正募集と認定された募集人には研修が行われ、対象者は2,456名に及んだ。調査が終了し、処分がほ

ぼ終わった事でこの問題は終わった様に感じるかも知れないが、一番優先すべき問題は終わっていない。

お客様の対応

会社の調査によって、契約の復元等を希望されたお客様には、比較的高い割合で処理が終わっているが、不適正と判断されても

お客様の意向が無ければ損失補填など、十分な対応と言えないからだ。

多数契約を見てみると、保険の契約と消滅が不自然に多いお客様が6,369名も該当したが、その内契約の復元等を希望したのは、2,790名で半分にも満たない。

過半数のお客様が自分で契約と消滅を繰り返し、たというの考えにくく、また、募集人を処分している以上、問題がある事を会社は認識している。復元等を希望されていないお客様に対する説明が欠けており、今後のリスクになり得る。

再発防止と課題

不適正募集を防ぐ為、人事評価を見直し、契約乗り換えの防止、高齢者募集の対策を実施する。

会社の方針転換であるが、この決断によってメンバーゲットを変えざるを得ない。

これまで、かんぽ保険は高齢者層がメインターゲットであったからだ。

在宅率が高く、自由に使えるお金がある高齢者に支えられていたと言える。一方、ネット活用や新商品開発力はまだ弱く、大きな成果に繋がっていない。

2022年4月新卒採用予定数

	日本郵政	日本郵便	ゆうちょ銀行	かんぽ生命	合計
総合職	15	50	80	90	235
業務(基幹)職	若干名	200	70	70	340
一般職	-	1,200	-	20	1,220
合計	15	1,450	150	180	1,795

新規採用者予定数

新規採用者予定数がグループ全体で減少傾向となっている。

特に日本郵便は減少幅が大きい。

その主な理由として挙げられるのは、かんぽ不適正問題で、営業職から転籍で日本郵便に配属された事と定年が65歳に延長された事だ。定年延長の影響は特に大きく、ここ数年の新規採用者は少なくなる可能性が高い。今後は土曜休配の影響も出てくる。

会社も労働力の減少を見越しており、採用を抑える旨を既に発信している。新規採用に限らず、社員登用数が前年比6割程度に抑えられた事からも社員への壁は高い。社員を希望する人にとって厳しい状況が続くそう。

今後の予定

- 7月11日(日) 9:30~
第10回中国地方大会
ふれあい貸し会議室
- 7月13日(火) 17:00~
第10回呉支部執行委員会
支部事務所

次号は 7月13日 予定